

ヤマハ音楽能力検定（指導グレード5・4・3級）要項

2022年4月改訂版
〈2025年11月補訂〉

目次

<u>試験科目と配点・試験当日の流れ</u>	2
<u>試験当日の注意事項</u>	3
<u>試験科目の概要</u>	4
<u>追試について</u>	8
<u>受験手続きと結果通知</u>	9
<u>課題例と解答例（筆記試験の解答例）</u>	11

本要項は日本国内で実施される試験専用です。諸般の事情により、やむを得ず内容を変更する場合がございます。ご受験の際には必ずウェブサイトをご確認ください。

ヤマハ音楽振興会グレードウェブサイト

URL : <https://www.yamaha-mf.or.jp/grade/>

お問合せ

ヤマハ音楽振興会 グレード事務局

〒153-8666 東京都目黒区下目黒 3-24-22 TEL 03-5773-0815
平日 10:00～12:00、13:00～17:00（土・日・祝 休業）

指導グレード

試験科目と配点

指導グレードは、実際に音楽を指導するにあたり必要な音楽の諸能力、知識等を審査するもので、実技試験と筆記試験から構成されています。実技科目で使用する楽器はピアノです。

科 目		配 点
実 技 試 験	ソルフェージュ（ピアノ使用） (a) メロディー視唱 (50点) (b) ひきうたい (50点)	(p.4 参照) 100点
	鍵盤実技（ピアノ使用） (a) 伴奏づけ (50点) (b) 移調奏 (50点)	(p.5 参照) 100点
筆 記 試 験	聴音	(p.6 参照) 100点
	楽典 (5級) 楽典・和声法 (4級) 混声合唱編作 (3級)	(p.7 参照) 100点
	コード進行法	(p.7 参照) 100点
合 計		500点

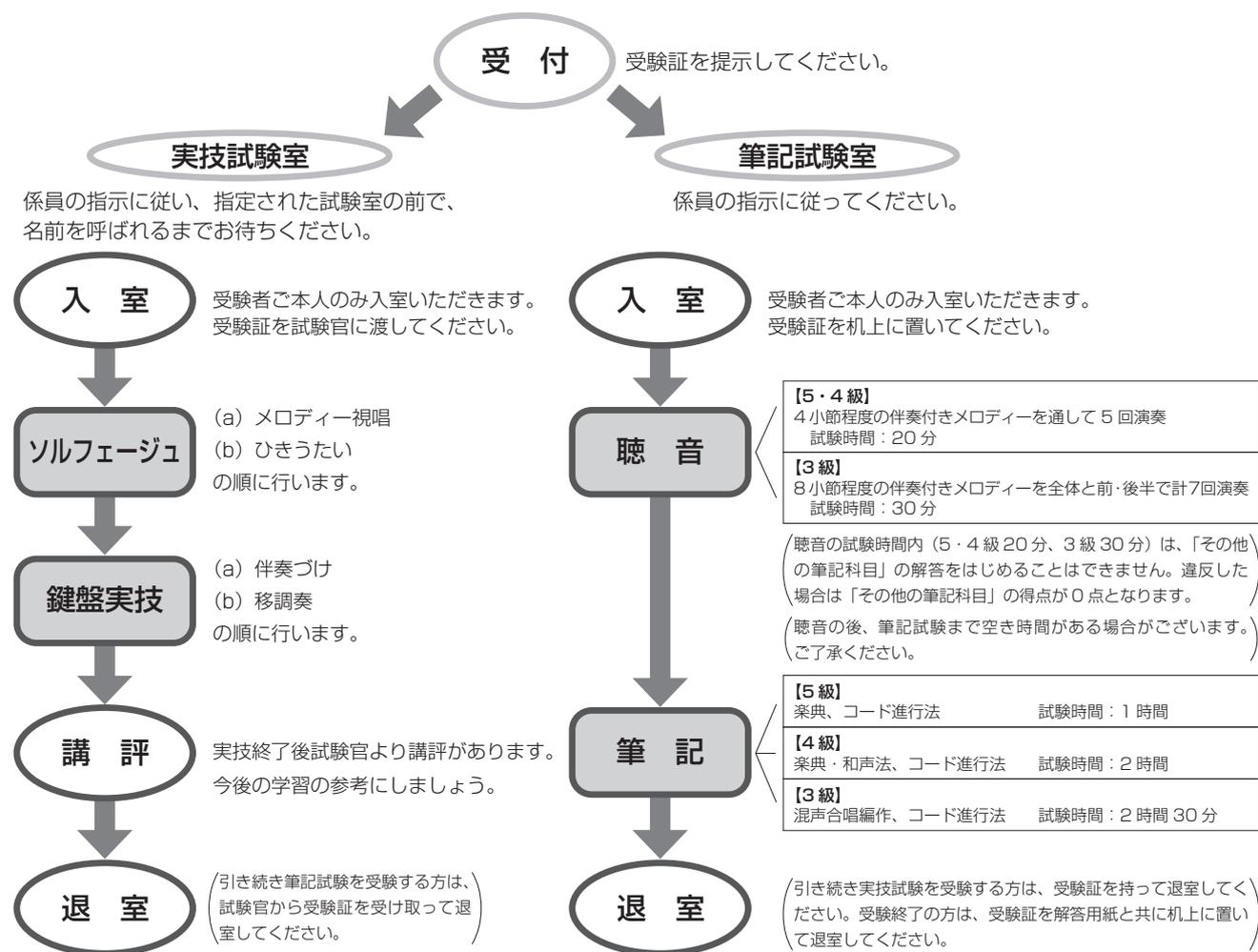
合否について

ヤマハ音楽振興会が認定した試験官2名が実技試験審査を行います。

合計点375点以上、なおかつ各科目の得点が60点以上あれば合格です。60点未満の科目は失格となり、たとえ合計375点以上を取っても合格とはなりません。

指導グレードでは不合格の場合、得点にかかわらず追試を受けることができます。追試の詳細については p.8 をご覧ください。

試験当日の流れ (係員及び試験官の指示に従ってください)



試験当日の注意事項

- 受験証記載の受付時間を厳守してください。受付時間に遅刻されますと受験できません。
- ※利用公共交通機関の支障(不通・欠航など)によるやむを得ない事情の遅刻・欠席は、その旨を当日会場に連絡してください。ただし、道路事情による遅刻(自家用車)は認められません。
- 実技試験と筆記試験の開始時刻は、それぞれ受験証に記載されています。実技試験のあとに筆記試験を受験していただく場合と、実技試験の前に筆記試験を受験していただく場合とがあります。実技試験と筆記試験の間には待ち時間が発生しますので、予めご了承ください。聴音の後、筆記試験まで空き時間がある場合がございます。
- 試験当日の会場での練習はできません。
- 筆記試験を受験する方は、必ず筆記用具をご持参ください。
- 受付手続き終了後は、携帯電話、及びすべての電子機器の電源を切ってください。携帯電話(スマートフォン、スマートウォッチ含む)の時計機能も利用できません。時計のアラーム等、音の出るものは電源を切ってください。
- 試験中は参考資料等を見ることはできません。
- 実技試験室内で、筆記用具の使用は禁止します。
- 筆記試験では、聴音とその他の筆記科目それぞれに解答時間が規定されています。試験では、聴音から解答をはじめていただきますが、聴音の解答時間内にその他の筆記科目の解答をはじめた場合、規定違反としてその他の筆記科目の得点が0点となりますので、ご注意ください。
- 筆記試験では途中退室をしても構いませんが、一度退室されたら再入室はできません。
- 試験の進行上、やむを得ず試験開始時間が遅くなる場合がございますので、ご了承ください。
- 受験証は、試験がすべて終了した時点で、実技・筆記いずれかの試験室に置いて退室します。
- 受験者の以下の行為は不正行為とみなされます。不正を行った受験者には退室していただき、試験結果は無効となります。
 - ① 資料や他人の解答を覗き見たり、試験中に援助を与えたり、または受けたりする。
 - ② 録音機器、ビデオ、カメラ、カメラ付携帯電話等を使用し、試験内容を記録する。
 - ③ 本人以外の者が偽って受験する。
 - ④ 試験問題を故意に持ち出す。
 - ⑤ その他不正とみなされる行為。

試験科目の概要

指導グレード実技試験 (課題例は P.11- をご参照ください。)

ソルフェージュ

(a) メロディー視唱 無伴奏の旋律を初見視唱します。

	5級	4級	3級
課題の内容	8小節程度の旋律。 臨時記号を含むこともある。	8～16小節程度の旋律。 簡単な一時的転調を含むこともある。	12～24小節程度の旋律。 一時的転調を含む。
実施方法	ドレミ唱（固定ド、移動ド）、ラララ唱など歌い方は自由。立って歌ってもピアノの前に座って歌ってもよい。 15秒程度の予見ののち、試験官の指示に従って開始する。その際、主和音または開始音をピアノで確認するが、予見時に確認してもよい。（確認は1度）		
評価のポイント	指定されたテンポで、正しい音程・リズムで歌えること。 楽譜に記載されているアーティキュレーションを伴って歌えること。		

(b) ひきうたい コードネームに従ってピアノで両手伴奏しながら初見視唱します。

	5級	4級	3級
課題の内容	12～16小節程度のコードネーム付き旋律。 使用されるコードネーム： Major、Minor、Dominant 7th (副属7を含む)	12～16小節程度のコードネーム付き旋律。 使用されるコードネーム： dim、aug、m ⁷ 等を含むこともある。	12～24小節程度のコードネーム付き旋律。 使用されるコードネーム： 一般に用いられるすべてのコード。
実施方法	ドレミ唱（固定ド、移動ド）、ラララ唱など歌い方は自由。 課題に指定されているコードネームに従って旋律にふさわしい伴奏形を用いてピアノ伴奏しながら歌う。 <u>旋律を弾いてはいけない。</u> 15秒程度の予見ののち、試験官の指示に従って開始する。その際、主和音または開始音をピアノで確認するが、予見時に確認してもよい。（確認は1度） 課題どおりの長さで演奏する。課題にない前奏をつけてはいけない。 但し、冒頭が休符で始まる課題は適宜前奏か伴奏リズムを先行させたのち歌に入る。		
評価のポイント	指定されたテンポで、正しい音程・リズムで歌えること。 指定されたコードネームに従い、適切な和音進行、和音の配置、伴奏形で演奏できること。 楽譜に記載されているアーティキュレーションを伴い、歌と伴奏のバランスに配慮して歌えること。		

鍵盤実技

(a) 伴奏づけ 単旋律にピアノで伴奏をつけます。

	5級	4級	3級
課題の内容	8小節のごく簡単な旋律。 主要3和音（I, IV, V）、属7、II。 正しい低音による終止形。	非和声音を含む8小節程度の旋律。 より適切な低音の選択。 II, VIなど副3和音を含むこともある。	一時的転調を含む12～16小節程度の旋律。 副3和音、副属7の和音を含む。 一時的転調を含むこともある。
実施方法	最初にメロディーだけを演奏する。次にメロディーに適切な伴奏をつけて演奏する。 予見時間は与えられない。		
評価のポイント	正しい和音づけがされており、適切な低音進行ができていないこと。 メロディーに対し、適切な伴奏形・配置で演奏されていること。 楽譜に記載されているアーティキュレーションを伴った演奏であること。		

(b) 移調奏 課題は大譜表で提示され、定められた音程に従って移調して演奏します。

	5級	4級	3級
課題の内容	8小節程度。 主要3和音（I, IV, V）、属7、II。 正しい低音による終止形。 移調の範囲：長2度・短2度・完全4度・完全5度のそれぞれ上下。		8～12小節程度。 移調の範囲： 5級・4級の範囲に加え 長3度・短3度の上下を含む。
実施方法	最初に課題を楽譜通りに演奏する。次に指定されている音程に従って移調し演奏する。予見時間は与えられない。		
評価のポイント	指示通りの調に移調し、正しい音・音程・リズムで演奏できること。 指定されたテンポで演奏できること。 楽譜に記載されているアーティキュレーションを伴った演奏であること。		

指導グレード筆記試験 (課題例は P.21 ~ をご参照ください。)

聴音

エレクトーンによる伴奏付きメロディーの聴音書き取り

課題は各級とも、エレクトーンで演奏された音源を再生して行います。

	5級	4級	3級
長さ	4小節程度 (但しアウフタクトを含むことがある)		8小節程度 (但しアウフタクトを含むことがある)
調	調性とその調の主音はあらかじめ与えられる。 但し拍子は与えられない。(何拍子かは課題から各自判断する)		
和声(範囲)	5・4・3級共、メロディーと共に低音を楽譜に記入し、和声はコードネーム(和音記号でもよい)を解答する。		
	主要3和音と属7、I ² を含むことがある。	5級の範囲に加え、副3和音、簡単な転回形(I ¹ , II ¹ 等)。	副属7、減7、増和音等及び各種の転回形を含む。
演奏回数	各30秒程度の間隔で、全体を通して5回演奏される。 この間に書き取る。		各20秒程度の間隔で次のように演奏される。 1. 8小節全体を通して 2. 前半の4小節だけ 3. 前半をもう一度 4. 全体を通して 5. 後半の4小節だけ 6. 後半をもう一度 7. 全体を通して

*この聴音試験では書き取り中は、5・4級は下書き欄を、3級では下書き用紙を用い、最終的に解答用紙に清書転記する。3級の下書き用紙は試験問題とともに提出し、持ち帰ることはできない。

5級・4級 課題の提示方法

1. 課題の調の主音が1回目の演奏の前にピアノ音色で示されます。
2. 5回演奏される各回の前に、短い発信音が鳴ります。1回目の時は発信音が1回、順に5回目の時は5回の発信音の後に始まります。
3. 課題の音色は、和音と低音は弦楽合奏(Strings)又はホルンと弦楽等、メロディーはStringsの他に、木管楽器系、金管楽器系等、各種の音色が、課題によって使い分けられます。
4. 拍子は指示されないので、4小節とは限らず、2小節、8小節での解答もありえます。
5. 和音記号で解答する場合VI, IIなどをVI_m, II_mと表示することもできます。転回形の表示(I², II¹, G^{onC}等)は不要です。

3級 課題の提示方法

1. 基本的な提示方法は上記3級の演奏回数参照。演奏開始の合図は5・4級とは異なり、全体、前・後半計7回とも共通の発信音です。
2. 3級ではなるべくコードネームで解答することをお勧めします。和音記号の場合、各種の変化和音の表示方法がいろいろあり、いずれも普遍的とは限らないからです。

楽典（5級）／楽典・和声法（4級）／混声合唱編作（3級）

5級では音階、和音、音程、調性の判別、正しい記譜法など、音楽全般の知識を問います。

4級では、それに加えて、移調楽器を含む楽器全般の知識と基礎的な和声法の理解度を見ます。

3級では、与えられた歌詞付きのメロディーを無伴奏混声4部合唱曲に編曲します。

5級	4級	3級
楽典	楽典・和声法	混声合唱編作
以下の範囲より適宜出題されます。 ●音階、和音、リズム、音程、 比較的良好に使われる記号、楽語などの全 般的知識。 ●楽譜、記号等の正しい書き方。 ●抽出された楽譜の一部による調性判別。	以下の範囲より適宜出題されます。 ●5級の範囲に加え、移調楽器、ハ音記号 等を含むスコアの読み取りと理解。 ●終止形、簡単な転回形を含む4声体和声 の実施。	民謡、唱歌、ポピュラー曲等のメロディー を用いて無伴奏混声4部合唱曲に編曲する。 曲の長さ、スタイル、その他書法は自由。 4声体和声様式を基本とし、それを元に各 種編曲の手法を用い発展させることも可能。

コード進行法 コード進行についての理解度を見ます。

5級		4級		3級		
[A] コード付け	旋律にふさわしいコードネームと低音を記入する。	[A] コード付け	旋律にふさわしいコードネームを記入する。	[A] コード付け	旋律にふさわしいコードネームと低音を記入する。	
	使われる和音の種類 (主要3和音、属7、副3和音、これ以外の和音を適宜に使用してもよい。)	[B] 低音の選択	使われる和音の種類 (5級の範囲に副属和音、経過和音等が加わる。)		[B] メロディー作曲	モチーフに続いて、指定されたコード進行と小節数に従ってメロディーを作曲する。
	[B] カウンターライン	[C] カウンターライン	コードネーム付き旋律にカウンターライン(*)を記入する。		[C] オブリガート・低音	コードネーム付き旋律に対し、実際の編曲に即した第2パート(オブリガート)と低音を記入する。
			上記BとCを合体した課題が出題されることがある			

※対旋律の素になるラインをカウンターラインと呼びます。カウンターラインの音価は、記載してあるコードに準じます。

(例)

聖者の行進より
(アメリカ民謡)

追試について（指導グレードのみの内容です）

追試の受験条件

指導グレードでは全科目受験にて不合格の場合、合計点、各科目の得点にかかわらず追試での受験が可能です。

追試有効期間

- 全科目受験日より1年間です。

例：5月21日全科目試験を受験した場合

翌年5月20日までに実施される試験において、追試受験が可能です。

- 追試有効期間中にあらためて全科目試験で受験されますと、新規の受験となりその結果が優先されます。追試期間が残っていても、無効となります。

追試科目

- 追試は、結果通知書をご確認の上、お申し込みください。
- 失格点（60点未満）をなくすこと、合計点を375点以上とすることを目標に、1科目～4科目を受験者自身が選択してお申し込みください。

※追試の場合でも「ソルフェージュ」は（a）メロディー視唱（b）ひきうたい両方の課題を行います。同様に「鍵盤実技」は（a）伴奏づけ（b）移調奏両方の課題を行います。

- 申し込み後の科目の変更はできません。
- 追試を申し込んだ科目は、常に最新の点数に書き換えられます。
- 申し込んだ科目のうち受験されない科目があった場合は、その科目は0点になります。

追試受験日に欠席され、追試科目を1つも受験しなかった場合は、前回の得点がそのまま残ります。

※筆記試験の追試も全科目試験の場合と同じ時間が与えられます。

受験料

各級の全科目指導グレード受験料と同額です（p.10参照）。

受験料は、理由の如何にかかわらず返金できません。

申し込み方法

全科目受験時と手順は同じです。試験種類を追試験に指定して、受験する科目を選択してください。

合否

合計点375点以上、なおかつ各科目の得点が60点以上あれば合格です。60点未満の科目は失格となり、たとえ合計375点以上を取っても合格とはなりません。

指導グレード（不合格の場合）

ヤマハ音楽能力検定 指導グレード5級 結果通知書				
ソルフェージュ	メロディー視唱	34.00/50	62.00/100	60点未満
	ひきうたい	28.00/50		
鍵盤実技	伴奏づけ	30.00/50	60.00/100	
	移調奏	30.00/50		
楽典			60.00/100	
コード進行法			90.00/100	
聴音			58.00/100	*
合計点			330.00/500	
最終合否		不合格		

大鳥舞子 殿
受験日 2019年5月21日
会場 ○○センター
受付No. ××××××××
この試験の追試期限は
2020年5月20日
の試験までです。
(追試制度についての詳細及び
注意事項は、要項で必ずご確認
ください。)

※60点未満（失格点）の科目があった場合、この欄に*マークがつきます。

受験手続きと結果通知（ピアノ/エレクトーン/指導グレード共通の内容です）

受験申込から結果通知まで

1 「要項」（本書）をよく読んで、受験するグレードの種類・級を決定

受験資格として、年齢、国籍等の制限はありません。ただし、日本国内に連絡先を有する方とします。受験証、結果通知書の送付先も日本国内のみとします。また、試験で使用する言語は日本語のみです。

2 受験日・受験会場を選択

試験日は毎年、3月に5月～10月分、9月に11月～翌年4月分を発表します。ヤマハ音楽振興会グレードウェブサイトに掲載している日程をご確認ください。

(<https://www.yamaha-mf.or.jp/grade/>)

3 1ヵ月前までにウェブサイトより申し込み（p.10をよくお読みください）

試験会場の定員に達した場合は、受付を締め切らせていただきます。

一度お申し込みいただいた試験内容は変更できません。また、受験料の返金もいたしかねます。試験日、グレード種別、級、会場などをよくご確認ください。

4 10日～1週間前 **受験証** 到着

受験証は、受験日の1週間前までに到着するよう、登録いただいた住所・氏名宛に郵送いたします。

受験日の6日前までに届かない場合は、グレード事務局（表紙参照）まで、至急お問い合わせください。申し込み内容の変更はできません。

- 写真（4cm × 3cm）を所定の位置に貼ってください。
- 演奏グレード受験の場合は、裏面の演奏曲目表に必要事項を記入してください。

5 試験当日（“試験当日の流れ” p.2 参照）

- 会場受付にて**受験証**を提示してください。
- 受験証記載の受付時間を厳守してください。受付時間に遅刻されると受験できません。
- 係員及び試験官の指示に従ってください。

6 試験後～3週間程度 **結果通知書** 到着

結果通知書は通常、受験日より3週間程度で、登録いただいた住所・氏名宛に郵送いたします。

1ヵ月を過ぎても届かない場合は、グレード事務局（表紙参照）までお問い合わせください。

合格された方には、結果通知書と共に、「合格証書」を送付いたします。

結果通知書、および合格証書の再発行はできません。大切に保管してください。

試験結果や受験経歴に関するお問い合わせには一切応じておりませんので、あらかじめご了承ください。

住所、氏名等が変更になった際は、結果通知書に添付の「住所等変更届」をお送りください。

受験の申し込み

申し込み方法

ヤマハ音楽振興会グレードウェブサイトの「グレード5・4・3級試験申込」よりお申し込みください。

<https://www.yamaha-mf.or.jp/grade/>

- 初めてウェブサイトから申し込みをされる方は、ログイン画面にある「新規登録」にて氏名とメールアドレスを登録してください。ログインに必要なユーザーIDと仮パスワードを発行いたします。登録いただいたメールアドレス宛に申込受付後に受付メールを送信しますので、受付メールを受信できるように次のドメイン（@の後ろがドメインです）を受信設定してください。「@ymf-rapport.jp」（設定方法は、Eメール契約問合せ先にご確認ください。）
- 申し込み受付後にグレード事務局より連絡させていただく場合がありますので、上記受付メールとは別に次のドメインの受信設定もお願いします。「@music.yamaha.com」
- ウェブサイトの利用可能時間は、午前8時～翌午前3時です。ただし、メンテナンスのため不定期に停止することがあります。
- 受験料の支払方法は、次のいずれかを申し込み時に選択してください。申し込み後、支払方法の変更はできません。
 - ・コンビニエンスストアにて現金支払い
申し込みから3日以内に受験料をお支払いください。期日までにお支払いが無い場合、申し込みは無効となります。レジにて発行されるお客様控えを必ず受け取り、受験証が届くまで保管してください。
 - ・クレジットカード決済（一括払い）
ウェブサイトからの申し込みと同時に、受験料決済の手続きを完了します。
引落日については、ご利用のカード会社にお問い合わせください。
- 画面の指示に従い、必要項目を入力してください。受験料決済の手続き完了後（コンビニ支払いの場合は入金確認後）受付メールを送信いたします。申込から受付メールが届くまでに数日かかることがあります。

申し込み締め切り

お申し込みの締め切りは、試験日の1ヵ月前の同日です。
試験会場の定員に達した場合は、受付を締め切らせていただきます。

受験料

●ピアノ・エレクトーン演奏グレード

	税込金額	税抜金額	消費税10%
5級	10,450円	9,500円	950円
4級	11,550円	10,500円	1,050円
3級	13,750円	12,500円	1,250円

●指導グレード

	税込金額	税抜金額	消費税10%
5級	9,350円	8,500円	850円
4級	10,450円	9,500円	950円
3級	13,750円	12,500円	1,250円

※受験料は、理由の如何にかかわらず返金できません。あらかじめご了承ください。

※消費税等が変更になった場合は、払込金額も変わります。

申し込み上の注意

- 申し込み後、受験日や内容の変更、申し込みの取り消しはできません。
- 試験時間の指定や希望は承れません。
- 同じ日に実施される試験に複数のお申し込みは受け付けできません。
- 申し込み内容について、グレード事務局より問い合わせをさせていただくことがあります。
不備がありますと、ご希望日に受験いただくことができません。

欠席連絡

欠席される場合は、グレード事務局（表紙参照）までご連絡ください。ただし、試験の前日・当日の場合は、受付締切時間までに試験会場へお電話ください。なお、返金や受験日の変更はできません。

※申し込み方法や申し込み締め切りは変更する場合がございます。その際にはヤマハ音楽振興会グレードウェブサイトにてご案内いたします。（<https://www.yamaha-mf.or.jp/grade/>）

課題例 ソルフェージュ 5 級

メロディー視唱
Melody Singing

1. 試験官の合図があるまで楽譜を読む。
 2. 歌い出しの音を単音か和音でとり、歌う。
1. Read the following score until the examiner gives you a cue.
 2. Play the beginning note or chord first, then sing.

Moderato



課題例 ソルフェージュ 5 級

ひきうたい
Melody Singing with Accompaniment

1. 試験官の合図があるまで楽譜を読む。
 2. 歌い出しの音を単音か和音でとり、コードネームに従って任意の両手伴奏をつけて歌う。
1. Read the following score until the examiner gives you a cue.
 2. Play the beginning note or chord first, then sing the melody while playing a suitable both-hand accompaniment which is in accordance with the given chords.

Allegretto

The musical score is written in G major (one sharp) and 3/4 time. It consists of four staves of music. The melody is written in a single treble clef. Chords are indicated by letters above the notes. The notes are connected by slurs, indicating phrasing. The score ends with a double bar line.

Staff 1: Chords D, A7, A7, D. Notes: G4 (quarter), A4 (quarter), B4 (quarter), A4-G4 (beamed eighth notes), F#4 (quarter), E4 (quarter), D4 (half).

Staff 2: Chords D7, G, A7, D. Notes: G4 (quarter), A4 (quarter), B4 (quarter), A4-G4 (beamed eighth notes), F#4 (quarter), E4 (quarter), D4 (half).

Staff 3: Chords B7, Em, E7, A. Notes: G4 (quarter), A4 (quarter), B4 (quarter), A4-G4 (beamed eighth notes), F#4 (quarter), E4 (quarter), D4 (half).

Staff 4: Chords D, G, D, A7, D. Notes: G4 (quarter), A4 (quarter), B4 (quarter), A4-G4 (beamed eighth notes), F#4 (quarter), E4 (quarter), D4 (half).

課題例 ソルフェージュ 4 級

メロディー視唱
Melody Singing

1. 試験官の合図があるまで楽譜を読む。
 2. 歌い出しの音を単音か和音でとり、歌う。
1. Read the following score until the examiner gives you a cue.
 2. Play the beginning note or chord first, then sing.

Moderato



課題例 ソルフェージュ 4 級

ひきうたい
Melody Singing with Accompaniment

1. 試験官の合図があるまで楽譜を読む。
 2. 歌い出しの音を単音か和音でとり、コードネームに従って任意の両手伴奏をつけて歌う。
1. Read the following score until the examiner gives you a cue.
 2. Play the beginning note or chord first, then sing the melody while playing a suitable both-hand accompaniment which is in accordance with the given chords.

Moderato

The musical score is written in 3/4 time and consists of three staves of music. The key signature has two flats (B-flat and E-flat). The melody is written on a single treble clef staff. Chord symbols are placed above the staff to indicate the accompaniment. The chords are: E^b, B^b7, B^b7, E^b on the first staff; E^b, Fm, F7, B^b on the second staff; Cm, A^b, B^b7, E^b on the third staff. The melody features eighth and quarter notes, often beamed together, with some notes marked with a 'y' (yama) indicating a grace note. The piece concludes with a double bar line.

課題例 ソルフェージュ 3級

メロディー視唱
Melody Singing

1. 試験官の合図があるまで楽譜を読む。
 2. 歌い出しの音を単音か和音でとり、歌う。
1. Read the following score until the examiner gives you a cue.
 2. Play the beginning note or chord first, then sing.

Moderato

The musical score is written on a single staff with a treble clef. It begins with a common time signature 'C' and a key signature of three flats (B-flat major). The melody consists of quarter and eighth notes, with some notes beamed together. The tempo is marked 'Moderato'. The score is divided into four staves. The first staff starts with a common time signature 'C' and a key signature of three flats. The melody consists of quarter and eighth notes, with some notes beamed together. The second staff continues the melody with similar note values. The third staff features a half note followed by eighth notes. The fourth staff concludes the melody with a final note and a double bar line.

課題例 ソルフェージュ 3級

ひきうたい
Melody Singing with Accompaniment

1. 試験官の合図があるまで楽譜を読む。
 2. 歌い出しの音を単音か和音でとり、コードネームに従って任意の両手伴奏をつけて歌う。
1. Read the following score until the examiner gives you a cue.
 2. Play the beginning note or chord first, then sing the melody while playing a suitable both-hand accompaniment which is in accordance with the given chords.

Moderato

The musical score is written in treble clef with a key signature of three sharps (F#, C#, G#) and a common time signature (C). The tempo is marked 'Moderato'. The score consists of four staves of music, each with chord symbols written above the notes. The melody is written in a simple, accessible style suitable for a 3rd-grade exam.

Staff 1: A Cdim Bm7 E Bm7 E7 Adim A

Staff 2: A C#7 F#m E B7 E

Staff 3: Em F#7 Bm F#m G#7 C# E7

Staff 4: A Aaug D D#dim A E7 A

課題例 鍵盤実技 5 級

伴奏づけ
Accompaniment

1. 先ずメロディーだけを演奏する。(この間に和音を考える)
 2. 次に任意の和音伴奏をつけて演奏する。
1. Play the following melody. (Think of the chords while you play.)
 2. Then, play it with chords.

Moderato

移調奏
Transposition

1. 先ず譜面通り演奏する。
 2. 次に長2度低く移調する。
1. Play the following piece.
 2. Then, transpose it major second down.

Allegretto

課題例 鍵盤実技 4 級

伴奏づけ
Accompaniment

1. 先ずメロディーだけを演奏する。(この間に和音を考える)
 2. 次に任意の和音伴奏をつけて演奏する。
1. Play the following melody. (Think of the chords while you play.)
 2. Then, play it with chords.

Moderato

移調奏
Transposition

1. 先ず譜面通り演奏する。
 2. 次に完全4度高く移調する。
1. Play the following piece.
 2. Then, transpose it perfect fourth up.

Allegretto

課題例 鍵盤実技 3 級

伴奏づけ
Accompaniment

1. 先ずメロディーだけを演奏する。(この間に和音を考える)
 2. 次に任意の和音伴奏をつけて演奏する。
1. Play the following melody. (Think of the chords while you play.)
 2. Then, play it with chords.

Moderato

The musical score is written on four staves in treble clef, G major (one sharp), and 2/4 time. The tempo is marked 'Moderato'. The melody consists of quarter notes and eighth notes, with some phrases grouped by slurs. The first staff starts with a treble clef, a key signature of one sharp (F#), and a 2/4 time signature. The second staff continues the melody. The third staff continues the melody, starting with a fermata over the first note. The fourth staff concludes the melody with a double bar line.

課題例 鍵盤実技 3級

移調奏
Transposition

1. 先ず譜面通り演奏する。
 2. 次に長2度低く移調する。
1. Play the following piece.
 2. Then, transpose it major second down.

Andante

The image displays a piano score for a piece titled "Andante". The score is written in G major (one sharp) and 4/4 time. It consists of three systems of music, each with a treble and bass staff. The first system begins with a treble staff containing a half note G4, a half note A4, and a half note B4, followed by a quarter rest. The bass staff contains a half note G3, a half note F3, and a half note E3, followed by a quarter rest. The second system continues with similar chords and melodic lines. The third system concludes the piece with a final cadence. The tempo marking "Andante" is placed above the first system.

課題例 聴音 5 級

筆記試験の解答例と留意点（赤字）を記載しています。

※解答例は「指導グレード5・4・3級 実技・筆記試験問題一覧 2013-2015年実施 解答実施例」（TGT01094286）より抜粋。

〔出題例〕

〔解答例〕

この部分を解答します。
和声はコードネーム、和音記号のどちらかを書きます。

音価を正確に聴きましょう。

調号、拍子を忘れずに書きましょう。

音の高さに気をつけながら、低音（ベース）は単音で書きましょう。

G I	C IV	D V	G I	C IV	D7 V ₇	G I
--------	---------	--------	--------	---------	----------------------	--------

課題の提示方法

1. 課題の調の主音が1回目の演奏の前にピアノ音色で示されます。
2. 5回演奏される各回の前に、短い発信音が鳴ります。
1回目の時は発信音が1回、順に5回目の時は5回の発信音の後に始まります。
3. 課題の音色は、和音と低音は弦楽合奏（Strings）又はホルンと弦楽等、メロディーはStringsの他に、木管楽器系、金管楽器系等、各種の音色が、課題によって使い分けられます。
4. 拍子は指示されないので、C表示の他にいろいろな音価での解答が可能です。その場合、4小節とはならず、2小節、8小節での解答もありえます。
5. 和声記号で解答する場合VI、IIなどをVI_m、II_mと表示することもできます。転回形の表示（I²、II¹、G^{onC}等）は不要です。

課題例 聴音 4 級

〔出題例〕

〔解答例〕

この部分を解答します。
和声はコードネーム、和音記号のどちらかを書きます。

G	C	D7	G	G	C	G	D7	G
I	IV	V ₇	I	I	IV	I	V ₇	I

※ 5 級と同様のポイントに気をつけて解答しましょう。

課題の提示方法

1. 課題の提示方法は 5 級と同じです。
2. 拍子は指示されないので、C 表示の他にいろいろな音価での解答が可能です。その場合、4 小節とは限らず、2 小節、8 小節での解答もありえます。
3. 和声記号で解答する場合 VI, II などを VI_m, II_m と表示することもできます。転回形の表示 (I², II¹, G^{onC} 等) は不要です。

課題例 聴音 3 級

〔出題例〕

〔解答例〕

付加音、7th など正確にコードを記入。

この部分を解答します。
和声はコードネーム、和音記号のどちらかを書きます。

※ 5 級と同様のポイントに気をつけて解答しましょう。

課題の提示方法

1. 基本的な提示方法は p.6 (3 級の項) 参照。演奏開始の合図は 5・4 級とは異なり、全体、前・後半計 7 回とも共通の発音音です。
2. 3 級ではなるべくコードネームで解答することをお勧めします。和声記号の場合、各種の変化和音の表示方法がいろいろあり、いずれも普遍的とは限らないからです。

課題例 楽典 5 級

[A] 次の楽譜について、以下の間に答えなさい。

Answer the following questions about the score below.

1. 上記の楽句は部分的に3つの調に属しています。それぞれ何調か順に書きなさい。
The phrase modulates twice. Write the keys in order.

ト長調 → イ短調 → ハ長調

2. 「 」で示した2音間の音程を書きなさい。
Write the intervals of two notes indicated 「 」.

(a) 短6度 (b) 長3度 (c) 短7度 (d) 増5度

[B] 次の和音に臨時記号(♯、♭)を1ヶ所だけつけて、それぞれ示された種類の和音になるようにしなさい。

Complete the following chords as indicated by adding one accidental (♯, ♭) for each.

<p>長3和音 Major Triad</p> <p>1. </p>	<p>短3和音 Minor Triad</p> <p>2. </p>	<p>属7和音 Dominant 7th Chord</p> <p>3. </p>	<p>短7和音 Minor 7th Chord</p> <p>4. </p>
--	--	---	--

課題例 楽典・和声法 4 級

[A] 次のメロディーについて以下の間に答えなさい。
 Answer the following questions about the melody below.

実音
actual pitch

1. 上記のメロディーを指定された楽器のための楽譜に調号を用いて書き改めなさい。
 Rewrite the above melody for the indicated instruments with the suitable key signature.

クラリネット in A
Clarinet (in A)

ホルン in F
Horn (in F)

ヴィオラ
Viola

2. このメロディーはト長調で始まり、何調に転調していますか。
 This melody starts in G major and then is modulated to a different key. Answer the key.

口短調

3. メロディーの旋律音程（となり合った2音間の音程）に減音程となっている部分が一箇所あります。それは減何度ですか。
 There is a diminished interval between the adjacent two notes in the above melody. Write the degree.

減
Diminished

7度

課題例 楽典・和声法 4 級

[B] 次の楽譜の欠けた音を補い、4 声体和声を完成しなさい。

Complete the four-voice harmony by filling in the blanks.

↑ 第3音が重ならないように。

導音→主音
第7音→第3音にしましょう。

課題例 混声合唱編作 3級

次のメロディーと歌詞を用いてソプラノ、アルト、テノール、バスによる無伴奏混声4部合唱曲を編曲しなさい。なお曲の長さ、スタイル、調、その他書法はすべて自由。

Arrange the following song with the given text for a mixed chorus consisting of soprano, alto, tenor and bass. Length, style, key and any other notation may be chosen freely.

主人は冷たき土の中に

Massa's In De Cold, Cold Ground

フォスター 作曲
近藤 玲二 訳詞

き の う に か わ ら ぬ と り の ね も
 し み どり の ま き ば に い だ か れ て
 Round de mead-ows am a - ring - ing De dark - eys' mourn - ful song,
 Where de i - vy am a - creep - ing O'er de grass - y mound,

か な し と お も え ば な み だ を さ そ う }
 や さ し き あ る じ は し ず か に ね む る }
 While de mock - ing bird am sing - ing, Hap - py as de day am long. }
 Dare old mas - sa am a - sleep - ing, Sleep - ing in de cold, cold ground. }

た だ わ れ ら な げ く の み
 Down in de corn - field Hear dat mourn - ful sound:

や さ し き あ る じ は し ず か に ね む る
 All de dark - eys am a - weep - ing Mas - sa's in de cold, cold ground.

Massa's In De Cold, Cold Ground

主人は冷たき土の中に

近藤 玲二 訳詞

Round de meadows am a-ringing
De darkeys' mournful song,
While de mocking bird am singing,
Happy as de day am long.
Where de ivy am a-creeping
O'er de grassy mound,
Dare old massa am a sleeping,
Sleeping in de cold, cold ground.

きのうにかわらぬ
とりのねも
かなしとおもえば
なみだをさそう
みどりのまきばに
いだかれて
やさしきあるじは
しずかにねむる

Down in de cornfield
Hear dat mournful sound:
All de darkeys am a-weeping,
Massa's in de cold, cold ground.

ただわれら
なげくのみ
やさしきあるじは
しずかにねむる

混声合唱編作
3級実施参考例

合唱編作は様々なスタイルが
考えられます。

〈記入上の注意等〉
この実施例では4声体の
動きを基本にアレンジの
要素を加えています。

タイトルを忘れずに。

主人は冷たき土の中に

Massa's In De Cold, Cold Ground

作詞・作曲者名を
忘れずに。

フォスター 作詞
近藤玲二 訳詞

速度 **Moderato (♩=80)**

パート名 Soprano Alto Tenor Bass

歌詞と音価を合わせましょう。

強弱を記入しましょう。

きのうにかわらぬ とりのねも

符尾の向きを分かりやすく書きましょう。

かなしとおもえば なみだをさそう

かなしとおもえば なみだをさそう

mp

みどりのまきばに いだかれて (-)

mp

無伴奏混声4部合唱です。ベースラインの動きになります。

限定進行音の動きです。

S
A
や さしきある じ は しずかにね むる

T
B

mf

S
A
た だ わ れ ら な げ く の み (-)

T
B
mf

和音を変化させています。

S
A
や さしきある じ は しずかにね むる

T
B

課題例 コード進行法 5 級

[A] 次のメロディーにふさわしいコードネームを () 内に、低音を下段にそれぞれ書き入れなさい。

Write the chord names in the parenthesis and a bass part in the lower staff which are appropriate for the following melody.

Allegretto

(Am) (E7) (E7) (Am)

(Am) (Bm⁵ / Dm) (Am) (E7) (Am)

[B] 次のメロディーとコード進行にふさわしいカウンターラインを書き入れなさい。

Write a counter line to satisfy the following melody and chord progression.

F A7 Dm D7 Gm G7 C A7

Dm F7 Bb Bbm F G C7 Fsus4 F

課題例 コード進行法 4 級

[A] 次のメロディーにふさわしいコードネームを () 内に書きなさい。
 Fill the parentheses () with appropriate chord names for the given melody.

Moderato

(F) (Dm) (Gm) (C)

(F7) (B♭) (F) (C7) (F)

(C7) (F) (E7) (Am) (C7)

(F) (Gm) (F) (C7) (F)

[B] 次のメロディーとコード進行にふさわしい低音を、書き入れなさい。
 For the following melody and chord progression, write suitable bass notes.

Moderato

B♭ D7 Gm B♭7 E♭ C7 B♭ F F7

B♭ Ddim Cm Edim B♭ F7 B♭

課題例 コード進行法 4 級

[C] 次のメロディーとコード進行にふさわしいカウンターラインを書き入れなさい。
Write a counter line which satisfy the given melody and chord progression.

Allegretto

A Aug F#m A7 D Dm A

A A7 D Dm A E7 Asus4 A

※1オクターブ下も可

課題 [B]・[C] の代わりに次のような複合課題が出題されることがある。
The exercise may combine (B) and (C) as the following example.

次のメロディーとコード進行にふさわしいカウンターラインを②に、低音を③のパートに、それぞれ書き入れなさい。

Write the counter line on the staff ② and the bass on ③ to match the following melody and chord progression.

Moderato

A^b F7 B^bm F7 B^bm B^b7 E^b E^b7

①

②

③

A^b A^b7 D^b D^bm A^b E^b7 A^bsus4 A^b

課題例 コード進行法 3級

[A] 次のメロディーに適切なコードネームと低音進行を書き入れなさい。

Write appropriate chord names and bass part to the given melody.

Moderato

The musical score consists of four systems of music. Each system has a treble staff with a melody and a bass staff with handwritten notes. Chord names are written in red above the treble staff. The key signature is one sharp (F#) and the time signature is common time (C).

System 1: Treble staff: G4, A4, B4, A4, G4. Bass staff: G2, A2, B2, A2, G2. Chords: G, D, Em, D, A7, D.

System 2: Treble staff: B4, A4, G4, F4, E4, D4. Bass staff: B1, A1, G1, F1, E1, D1. Chords: B \flat , F, Gm, F, C7, F.

System 3: Treble staff: E4, D4, C4, B3, A3, G3. Bass staff: E2, D2, C2, B1, A1, G1. Chords: Dm 5 , G7, Cm, Em 5 , A7, D, D7.

System 4: Treble staff: G4, A4, B4, A4, G4. Bass staff: G2, A2, B2, A2, G2. Chords: G, (G7)Gaug, C, C \sharp dim, G, D7, G.

課題例 コード進行法 3級

[B] 次のコード進行により、示されたモチーフに続けてメロディーを作曲しなさい。

Develop the given motif into a complete melody by following the indicated chord progression.

Moderato

The musical score is written in 3/4 time and E-flat major. It begins with a motif on the first staff: E-flat, E-flatM7, E-flat6, E-flatM7. The following staves show a chord progression: Fm, FmM7, Fm7, Bb7; E-flat, Bb7aug, Gm7-5, C7; Fm, Bb7, E-flat; Ab, E-flat, Bb7, E-flat; G7, Cm, Bb, F7, Bb; E-flat, E-flat7, Ab, Adim; E-flat, Bb7, E-flat. Red notes and slurs indicate the motif and its continuation.

課題例 コード進行法 3級

[C] 次の曲のコード進行と旋律を参考にしてIパート、IIパートと低音を書き入れなさい。

Complete Part I, Part II and Bass part referring to the melody and the chord progression.

Moderato

Am E7 Am Dm D#dim E7 F Dm G

I

II

III
(低音)
(Bass)

C G7 C F C D7 G7 Em⁻⁵ A7

Dm7 G7 Cm7 Fm7 Bm⁻⁵ E7 Asus4 A